

1 委員会の役割 (抜粋)

<常設委員会の例>

| 名称      | 職務内容                                    |
|---------|---|
| 校務運営委員会 | 1. 学校運営に関する企画運営に関する審議<br>2. 諸計画, 諸行事の調整 |

<特設委員会の例>

| 委員対象    | 職務内容                        |
|---------|-----------------------------|
| 進路対策委員会 | 1. 進路指導の計画と審議<br>2. 進路指導の推進 |

<プロジェクトチームの例>

| チ部1活ム動 | 職務内容   |
|--------|--|
|        | 1. 設置部および担当顧問教師原案作成, 折衝<br>2. 部活動基本計画の作成, 検討 |

(3) プロジェクトチーム編成と活動 (実践例)

① 前年度の反省と改善点

今年度の教育課程編成のためにもたれた反省会で, 学校行事の精選の問題が取り上げられ, 統廃合できるものを検討した。

・ 反省

- ・ 行事がこまぎれなので, 統廃合できるものを検討してはどうか。
- ・ 校内音楽祭, 校内マラソン大会, 自然に親しむなど, 午前中または午前の途中から午後にかかる行事のもち方を検討してはどうか。(以下略)

などの反省がだされた。9~11月上旬まで7行事を設定しているのので, 検討を加え, なんらかの改善をはかる必要があった。

・ 改善点

実際には行事を減らすことはむずかしいので, 行事の統廃合実施を試みることにした。今年, 校内マラソン大会と自然に親しむ会で試行することとし, 次の改善点に従って検討することにした。

- ・ それぞれ3時間ずつの行事を統合し1日行事とする。
- ・ 曜日のバランスを配慮する。
- ・ 2行事を統合するので, 日程, 内容などを検討し調整する。

② プロジェクトチームの必要性

校内マラソン大会と自然に親しむ会は, 昨年

まで別個に実施してきたので, そのままの統合では実施不可能である。内容・日程などの細部を検討し調整する必要があった。校務分掌の単一系の学校行事係だけで, 細部にわたって決定できないので, 原案作成の委員会(プロジェクトチーム)を編成した。

校務運営処理表(B)

| 名称     | 校内マラソン大会・自然に親しむ会                    |   |
|--------|-------------------------------------|---|
| 時期     | 処理手順                                | 内容  |
| 9 中旬   | プロジェクトチーム編成                         | 学校行事係3, 体育主任, 教務主任, 生徒指導主事<br>・ 日程, 内容の検討, 調整<br>・ 走路, 場所の下見<br>・ 実施細案の作成<br>・ 審議, 修正, 内容加除<br>・ 学年(級), 体育部会, 生徒会指導内容確認     |
| 9 中旬   | 原案検討作成                              |   |
| 9 下旬   | 原案審議<br>校務運営職員会<br>決定<br>校長         |   |
| 10 月上旬 | 対外折衝<br>○学級会 ○体育部 ○生徒会              | ・ 走路, 場所使用許可申請<br>・ 火気使用 消防署連絡<br>○ 実施要項説明<br>○ 班編成, 日程・内容指導<br>◇ 身体的要注意者リスト作成  |
| 10 月上旬 | 要項説明                                |   |
| 10 月中旬 | 練習計画作成                              |   |
| 10 28  | 実施                                  |   |
| 11 月上旬 | 反省・記録<br>自然に親しむ会 校内マラソン大会 生徒の参加のしかた | ○ まきの配分<br>○ 健康状況把握<br>○ 各班, 学級, 全体の反省<br>◇ 走路, 距離, 運営などの反省<br>□ 生徒の参加のしかた<br>・ 職員・生徒の反省の集約<br>・ 改善点の検討<br>・ 次年度計画への改善点(記録) |
| 11 月中旬 | 反省集約・改善点<br>次年度計画へ                  |   |

③ 構成と期間

- ・ 構成メンバー 学校行事係3名, 教務主任, 体育主任, 生徒指導主事の6名とし, 教頭の指導をうける。
- ・ 期間 昭和57年9月10日~11月12日を一応の期間とし, 反省の集約と改善点をまとめた時点で解散する。

④ 校務運営の機能化をはかる実践例

|      |           |                              |
|------|-----------|------------------------------|
| 原案作成 | 57, 9, 10 | 校務運営処理表 (A) (教頭提示)           |
|      |           | 校務運営処理表 (B) 検討作成 (プロジェクトチーム) |
|      | 57, 9, 17 | 時程検討・時間配分 (プロジェクトチーム)        |

|      |           |  |
|------|-----------|--|
| 原案審議 | 57, 9, 27 | 当日の時程, 校内マラソン大会走距離・走路の変更, 自然に親しむ会の場所割り, 水の補給, まきの準備, 便所の確保 (校務運営委員会) |
|      | 57, 9, 27 | 同上内容をチームリーダーから提案 (内容, 準備, 当日の時程, 運営全般等) 全体の調整はプロジェクトチームで行う。(職員会)     |